
2. 表現パターンの展開

2-1 色彩

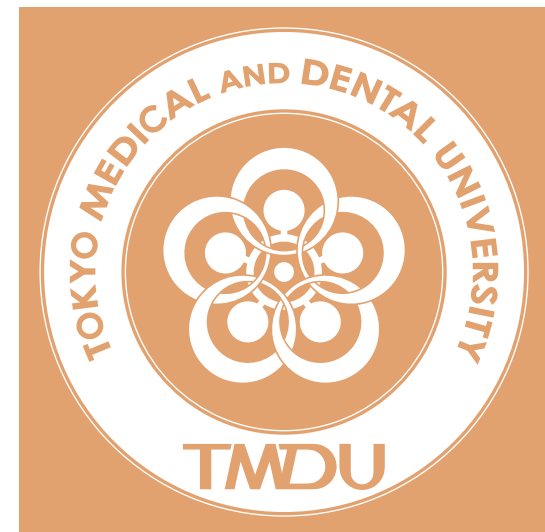
「基本要素」6つおよび「基本要素の組み合わせ」6つのすべては、1-1、1-2で既に示した通りスクールカラーを適応して使うのが原則です。しかし背景が濃い色の場合においては、白抜きの使用を可能とします。また単色の場合には、どちらかのスクールカラー、黒の他、別の色彩を適応できますが、イメージが異なる色彩の適応は好ましくありません。

-  ○  東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY
-  ○  東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY
-  ○  東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY
- △  東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

2. 表現パターンの展開

2-1 色彩

「基本要素の組み合わせ」の1-2eについては、単色使用、白抜き使用のデザインが別に定められています。円形の帯の縁がカラー使用のものと違います。



2. 表現パターンの展開

2-2 配置

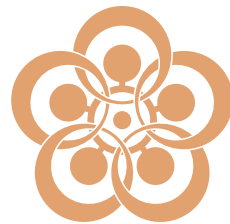
「基本要素」「基本要素の組み合わせ」の配置にあたっては、他の要素の干渉を防ぐため周囲のグラフィック要素、紙面の端との間に最小限確保すべき余白を規定しています。このように「基本要素」「基本要素の組み合わせ」を独立させて配置することを「アイソレーション」と呼び、シンボルマークの高さ2分の1（シンボルマークを含まない場合はロゴマークの高さ2分の1、基本要素の単独使用の場合も各要素の高さ2分の1、1-2eでは帯の幅の2分の1）を最低限必要な余白としています。また基本要素の組み合わせは規定した6通りのみとするため、基本要素や基本要素の組み合わせを複数配置する際は、それぞれの空間を充分にとり独立させ使用します。



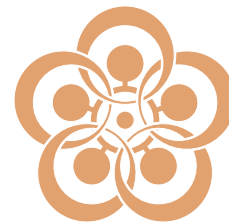
2. 表現パターンの展開

2-2 サイズ

小さいサイズでの使用にあたっては、可視性を考慮して、小サイズ用のシンボルマークを使用します。シンボルマークの高さが10mm未満の場合、小サイズ用のシンボルマークで構成された基本要素の組み合わせを使います。また最小サイズは文字の可読性を考慮して使用する必要があります。



標準シンボルマーク



小サイズ用シンボルマーク

10mm



TMDU
東京医科歯科大学



TMDU
東京医科歯科大学

2. 表現パターンの展開

2-4 各部局表示との組み合わせ

各部局を表示する場合、イメージを乱さないこと、バランスを考慮することに注意し配置します。以下に例を示します。また各部局で固有のマークを持ちそのマークを使用する場合は、6通りの基本要素の組み合わせのうちシンボルマークを含まない1-2c、1-2dに追加する形で組み合わせます。

各部局表示例



医学部医学科



医学部附属病院



歯学部歯学科

各部局固有のマークを併記する例



× (シンボルマークとの併記は避ける)

